

大間病院での実習

実習生：東京大学5年生

実習期間	平成 22年 8月 23日から平成 22年 8月 27日まで
実習内容 (概要)	大間病院 ・ 外来、検査見学 ・ 病棟見学 ・ 訪問診療 ・ 出張診療所 特別養護老人ホーム くろまつ ・ 介護予防教室への同行 ・ 訪問活動 ・ 配食サービス むつ総合病院見学
実習に対する感想	まず病院の周りの環境などあらゆることが新鮮であったので、1週間という期間は少し短く、非常に毎日が充実していた。大間病院は地域の中核病院ではあるものの総合病院ではないためおもにむつ総合病院と連携をとったり、出張診療所や訪問診療を行ったりしており、また隣接している「くろまつ」も含めるとあらゆる医療の分野をカバーしており、大学病院などの都市部の病院しか知らない自分にとっては勉強になることが多かった。みなさん明るくアットホームな雰囲気です。質問もしやすく、また“待合室実習”など患者さんとかかわる時間も長いので地域について理解が深まった。今回、医学的知識はそれほど増えなかったが、地域医療の現状や医師としての姿勢のような本からは得にくいことが非常に重要なことを実体験として学べたと思う。
実習に対する意見 ・ 要望	県外の学生だと、総合病院と診療所のように役割の異なる両方の施設で実習できると地域の現状なども含めてさらに理解が深まるかもしれません。 実習期間に幅が持てるといいかもしれません。 県として学生の実習を仲介してくれるというのは非常にありがたいことなので、是非これからもこういった取り組みを続けていただければと思います。 宿泊や交通費などの面でも充実しているので、周りにはいる地域医療などに興味のある友人などに勧めやすいです。 有意義な実習をさせていただきまして、本当にありがとうございました。